

特集

編 房総エリア



温泉のある田舎暮らし

大満足!

リタイアしたつもりが
いい土地に出会い……

房総半島は首都圏から近いのに、内陸部へ入るか、海岸線を南下すればするほど、空気は澄みわたり、日差しは明るく、生け垣や屋敷林、里山は緑を、空や海は青さを増す。

東京から外房線の特急で一時間ほどで、太平洋が眼前に開けてくる。そこから外房海岸を南下すれば、海浜リゾートでもある安房鴨川に着く。

有田光雄さん(75歳)がすっかり魅せられたのが、房総半島の温暖な気候と陽光であり、鴨川市内を内側に少し入った

開けた土地と自家温泉で

夢が広がる

郷里の九州に似た温暖な気候と海の幸に恵まれていると、悠々自適の一人暮らし、隠居生活に入るはずだった……。ところが、いざ手に入れた日当たりがよく、海も見える眺めのいい高台の土地に立ってみると、もっと人に訪ねて来てもらおうために、民宿でもやってみよう、温泉もほしいな、と楽しいプランはどんどん広がっていく。

高台の土地だった。

「隠居暮らしにどこかいい土地はないかと、いろいろ探していました。たまたま本屋で不動産専門誌にここが出ていたので見つけたのですが、高台の南斜面で日当たりがよく、一発で気に入りました」

しかも晴れたときには青い海も遠望できる。広さは七百四十

坪。隣は段々畑。

上は雑木林、下は

田んぼと花卉栽培

ハウス。集落はな

く、七、八軒の民

家が点在するくら

い。地目や地権者

は六筆に分かれ、

当初の坪単価は相

場よりずっと高かったが、少し

下げさせて購入を決断した。

ここは有田さんにとって、隠

居生活の場のはずだった。ここ

ろが、気持ちはすぐ前向きに転

じる。

「最初は隠居家でも建てようか、

という軽い気持ちでした。でも、

それじゃだれも訪ねて来ないか

な、と。人が来るのが好きだし、

安房鴨川は民宿にも向いていそ



有田さんの高鶴山荘の側壁には目立つ温泉マーク。自慢の露天風呂は見晴らしのいい庭先にこしらえた。



●千葉県鴨川市●面積：147.31km²●人口：31,365人●最高気温：33.9℃●最低気温：-4.1℃●アクセス：館山自動車道姉崎袖ヶ浦ICより南へ車で約50分。JR外房線安房鴨川駅下車

うだと考えて、民宿をやってみようと思ったのです」
有田光雄さんは熊本県八代市

正面は高鶴山。山荘入り口の目印は鳥居。手前の石段を上る神社は源為朝がひそんでいたという伝説がある。

